

利益を生み出す 会計情報活用法

～1日でわかる! 会計情報の活かし方～

平成30年 **12月11日(火)** 9:30～

会場 松本市勤労者福祉センター

時間数 6時間

募集人数 **30名**

受講料 **16,000円** (税込み) ※受講料は変更になる場合があります。

対象者 **経営者、経営幹部** (業種は不問)

特に受講をお勧めしたい方

- 税務・会計は苦手だが、その本質とポイントを理解したいと考えている方
- 経営判断を行う上で、管理会計の知識を持つことが必要な立場の方
- 会計情報を経営に活かしたいと考える経営者・経営幹部の方



講師プロフィール (敬称略)

講師 **齋藤 勝美**

株式会社 創造経営センター
コンサルティング事業部リーダー

専門商社・大手会計事務所を経て、(株)創造経営センターに入社し、現在に至る。卸売業・運送業・病院などの中小・中堅企業の経営診断、指導に携わる。登録資格創造経営コンサルタント・認定登録医業経営コンサルタント。



研修のねらい

中小企業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、企業が生き残り成長発展していくためには、自社の経営状態を正確に把握し、全社的に経営課題に取り組み、利益を生み出すことが重要です。

本研修では、管理会計によって経営課題を可視化し、自社の現状を客観的に把握することの大切さや、会計情報の経営への活用について様々な視点をわかりやすく解説します。特に、現状の収益構造からどのようにして利益を生み出すのか演習を交えて実践的に学ぶとともに、利益・資金計画を実現するための進捗管理の重要性や取り組みのポイントを学びます。

時間	科目・内容
9:30～	オリエンテーション
9:40 ～ 16:40	管理会計の基本的知識 会計情報を経営に有効に活用した企業の事例から、経営のための会計について考えます。また、「儲けとお金」の関係について理解し、モデル教材を使いながらキャッシュ・フロー計算書を作成します。
	会計情報の実践的活用 ・ 管理単位別(部門別、商品別、地域別、取引先別、など)の会計の必要性・取り組み方について、具体的な事例を通じて学びます。 ・ モデル決算書を用いて、現状の収益構造の把握、損益分岐点分析の基本を学びます。 ・ モデル事例の現状分析の結果をヒントに収益性を改善する方法(売上高の拡大・利益率の改善・固定費の圧縮)を導き出す演習を通じて理解を深めます。
	利益・資金計画の必要性と計画実現に向けて なぜ利益・資金計画が必要なのか、計画に沿った進捗管理によって会社に変化し好循環が生まれた事例を用いてわかりやすく説明します。 また、計画の実現性を高めるための管理のポイントを学びます。ワークシートにより、自社に利益・資金計画を導入するにあたっての問題点と課題を整理します。

会場のご案内 松本市勤労者福祉センター



交通

- JR松本駅お城口の松本バスターミナルから松本電鉄バス横田信大循環線、もしくは新浅間線に乗り、または松本駅お城口のりばから北市内線東まわりに乗車し、「松本市美術館前」で下車、北に徒歩5分
- JR松本駅から市街地循環バス「タウンズニーカー」の東コースに乗り、「日の出町」で下車
- JR松本駅お城口からタクシーで約5分(約1キロメートル)
- 長野自動車道松本ICから約25分(約3キロメートル)

※駐車場の台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関、または乗り合わせでのご来場にご協力ください。

松本市勤労者福祉センター

〒390-0811
長野県松本市中央4丁目7番26号
TEL: 0263-35-6286
FAX: 0263-88-7669



お問い合わせ



中小企業大学校 三条校 研修担当

〒955-0025 新潟県三条市上野原570

TEL: 0256-38-0770

FAX: 0256-38-0777

<http://www.smrj.go.jp/institute/sanjyo/>



Fax: 0256-38-0777 中小企業大学校三条校 行

18-70 利益を生み出す会計情報活用法 受講申込書

フリガナ 企業名		組織形態	・法人(資本金 万円) ・個人	従業員数	人
代表者氏名		業種 (○をつけてください)	製造業・建設業・運輸業・ソフトウェア業 情報処理サービス業・卸売業・小売業 サービス業・旅館業 その他()		
所在地	〒 -	主な取扱商品・サービス			
TEL		連絡担当			
FAX		部署名	(担当者氏名:)		
受講者		性別	年齢	所属	役職
フリガナ 氏名		男・女	歳		
研修情報の入手先 (○をつけてください)		ダイレクトメール・研修ガイド・ホームページ・受講者の紹介・商工団体等・金融機関 新聞雑誌・区市等の機関誌・その他()			